

## 『日本介護福祉士会ニュース』の見直しに関する調査 報告

運営サポーターアンケート運営部会

## 1. 方法

調査対象：346名（3月15日時点のサポーター登録者数277名、代議員69名）

調査方法：Google フォーム

調査期間：2022年2月28日～3月15日18:00

有効回答：94件（有効回答率27.2%）

## 2. 主な結果

## (1) 回答者の年齢と介護従事者

回答者の年齢は、40歳代が最も多く40名（42.6%）、次いで50歳代が32名（34.0%）だった。回答者のうち、現在、介護に従事している者は59名（62.8%）だった。

表1 年齢と介護従事者

	従事している	(%)	従事していない	(%)	計	(%)
20～29歳	2	( 3.4)	0	( 0.0)	2	( 2.1)
30～39歳	8	( 13.6)	3	( 8.6)	11	( 11.7)
<b>40～49歳</b>	<b>27</b>	<b>( 45.8)</b>	<b>13</b>	<b>( 37.1)</b>	<b>40</b>	<b>( 42.6)</b>
<b>50～59歳</b>	<b>17</b>	<b>( 28.8)</b>	<b>15</b>	<b>( 42.9)</b>	<b>32</b>	<b>( 34.0)</b>
60～69歳	5	( 8.5)	4	( 11.4)	9	( 9.6)
計	<b>59</b>	(100.0)	35	(100.0)	94	(100.0)
(行%)	<b>( 62.8)</b>		( 37.2)		(100.0)	

## (2) 介護業務の実務経験

回答者の介護業務の実務経験については、「20年以上」35名（37.2%）が最も多く、次いで「5～10年未満」20名（21.3%）だった。

表2 介護業務の実務経験

	件数	(%)
1～3年未満	2	( 2.1)
3～5年未満	4	( 4.3)
<b>5～10年未満</b>	<b>20</b>	<b>( 21.3)</b>
10～15年未満	18	( 19.1)
15～20年未満	15	( 16.0)
<b>20年以上</b>	<b>35</b>	<b>( 37.2)</b>
計	94	(100.0)

## (3) 勤務先の専門分野

回答者の勤務先の専門分野については、「高齢者福祉」が最も多く、66名（70.2%）だった。

表3 勤務先の種類

	件数	(%)
<b>高齢者分野</b>	<b>66</b>	<b>( 70.2)</b>
障害者分野	6	( 6.4)
医療	7	( 7.4)
教育（特別支援学校など）	1	( 1.1)
介護福祉士等の養成校	6	( 6.4)
その他	8	( 8.5)
計	94	(100.0)

## (4) 介護福祉士会の継続加入年数

介護福祉士会の継続加入年数については、「10～15年未満」24名（25.5%）が最も多く、次いで「20年以上」19名（20.2%）、「5～10年未満」15名（16.0%）だった。

表4 介護福祉士会の継続加入年数

	件数	(%)
1年未満	2	( 2.1)
1～3年未満	13	( 13.8)
3～5年未満	8	( 8.5)
<b>5～10年未満</b>	<b>15</b>	<b>( 16.0)</b>
<b>10～15年未満</b>	<b>24</b>	<b>( 25.5)</b>
15～20年未満	13	( 13.8)
<b>20年以上</b>	<b>19</b>	<b>( 20.2)</b>
計	94	(100.0)

## (5) 『ニュース』の閲覧状況

『ニュース』の閲覧状況については、「毎回読んでいます」63名（67.0%）が最も多く、次いで「ときどき読んでいます」20名（21.3%）だった。

また、現在の介護業務従事状況とのクロス集計を行い、介護従事者と非従事者で比較を行ったところ、「毎回読んでいます」及び「ときどき読んでいます」が占める割合は、介護に「従事している」群（84.7%）よりも、「従事していない」群（94.3%）の方が高かった。

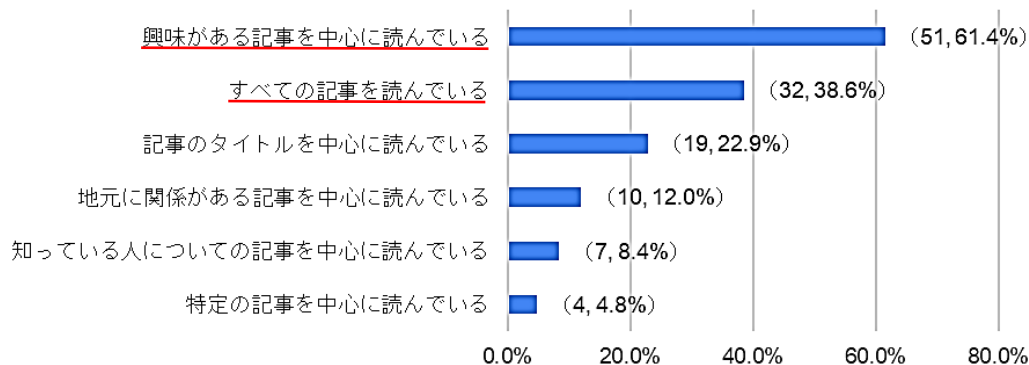
表5 『ニュース』の閲覧状況と介護業務従事状況

	従事している	(%)	従事していない	(%)	計	(%)
<b>毎回読んでいます</b>	37	<b>( 62.7)</b>	26	<b>( 74.3)</b>	<b>63</b>	<b>( 67.0)</b>
<b>ときどき読んでいます</b>	13	<b>( 22.0)</b>	7	<b>( 20.0)</b>	20	( 21.3)
あまり読んでいない	7	( 11.9)	2	( 5.7)	9	( 9.6)
まったく読んでいない	1	( 1.7)	0	( 0.0)	1	( 1.1)
わからない等	1	( 1.7)	0	( 0.0)	1	( 1.1)
計	59	(100.0)	35	(100.0)	94	(100.0)

## (6) 『ニュース』の読み方

『ニュース』の閲覧状況について、「毎回読んでいます」または「ときどき読んでいます」と回答した83名に対し、『ニュース』をどのように読んでいますか、複数回答で質問した。その結果、「興味がある記事を中心に読んでいます」51件（61.4%）、「すべての記事を読んでいます」32件（38.6%）が多かった。

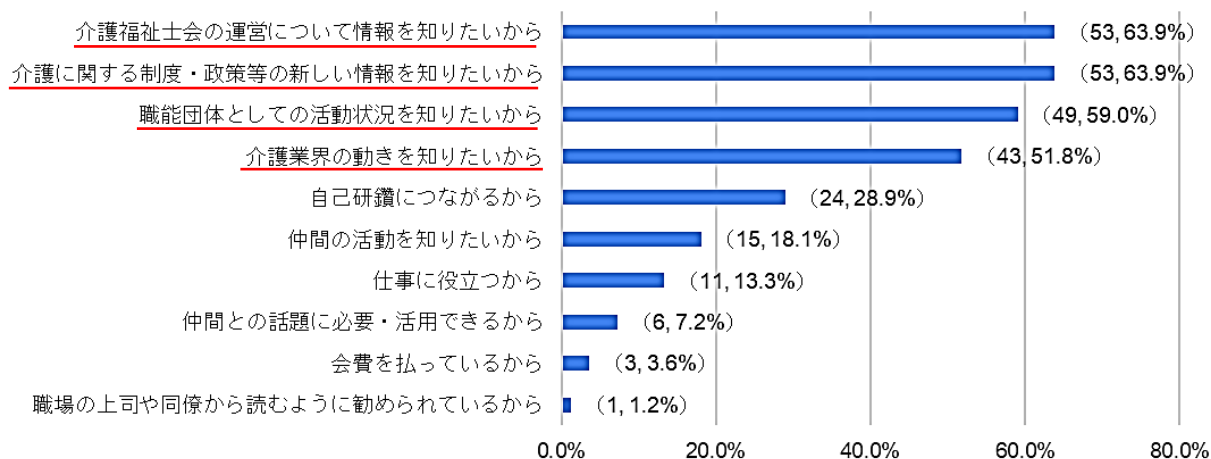
ニュースをどのように読んでいますか（複数回答）



## (7) 『ニュース』を読む理由

『ニュース』の閲覧状況について、「毎回読んでいます」または「ときどき読んでいます」と回答した83名に対し、『ニュース』を読む主な理由を、複数回答（上限3項目を選択）で質問した。その結果、「介護福祉士の運営について情報を知りたいから」53件（63.9%）、「介護に関する制度・政策等の新しい情報を知りたいから」53件（63.9%）、「職能団体としての活動状況を知りたいから」49件（59.0%）、「介護業界の動きを知りたいから」43件（51.8%）が多かった。

ニュースを読む主な理由（複数回答）



## (8) 楽しみにしている記事

楽しみにしている記事について、自由記述で回答を求めたところ、以下の記載がみられた。

- ・ 介護福祉士会から国などに対する要望
- ・ 会長あいさつ
- ・ 会長の言葉
- ・ 正副会長の動き
- ・ 取り組み報告
- ・ 今の時期だと、コロナ対策
- ・ 国の動向、特に処遇改善
- ・ 行政との会議内容
- ・ 実際に関わったことのある人が掲載されていると、うれしくなります。
- ・ 中央や他支部の研修会情報
- ・ 研修案内
- ・ 研修会の案内
- ・ 都道府県介護福祉士会の研修企画や活動など。
- ・ ICTなどの業務改善等の記事
- ・ 最新の福祉用具
- ・ ロボットに関する記事
- ・ 特には、黒澤先生の記事を読んでいます。

## (9) 会員同士等での話題

『ニュース』の内容が会員同士等で話題になるかについては、「あまり話題にならない」41件(44.1%)が最も多かった。

表6 会員同士等での話題

	件数	(%)
よく話題になる	1	( 1.1)
ときどき話題になる	17	( 18.3)
<b>あまり話題にならない</b>	<b>41</b>	<b>( 44.1)</b>
まったく話題にならない	34	( 36.6)
計	93	(100.0)

## (10) 『ニュース』の読みやすさ

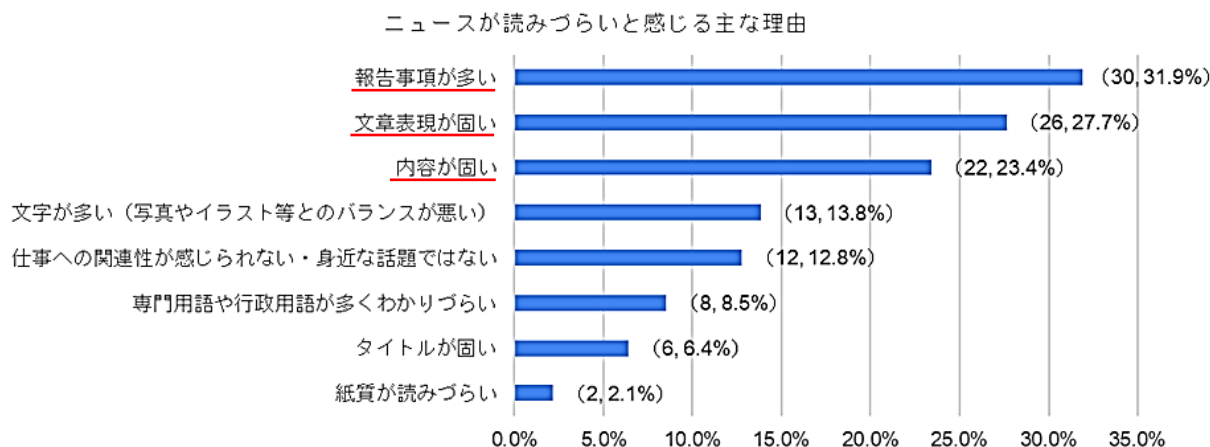
『ニュース』の文章表現や取り上げている内容が読みやすいかについて、「まあまあ読みやすい」56件(60.2%)が最も多かった。

表7 読みやすさ

	件数	(%)
とても読みやすい	9	( 9.7)
<b>まあまあ読みやすい</b>	<b>56</b>	<b>( 60.2)</b>
すこし読みづらい	17	( 18.3)
とても読みづらい	3	( 3.2)
わからない	8	( 8.6)
計	93	(100.0)

## (11) 『ニュース』が読みづらいと感じる主な理由

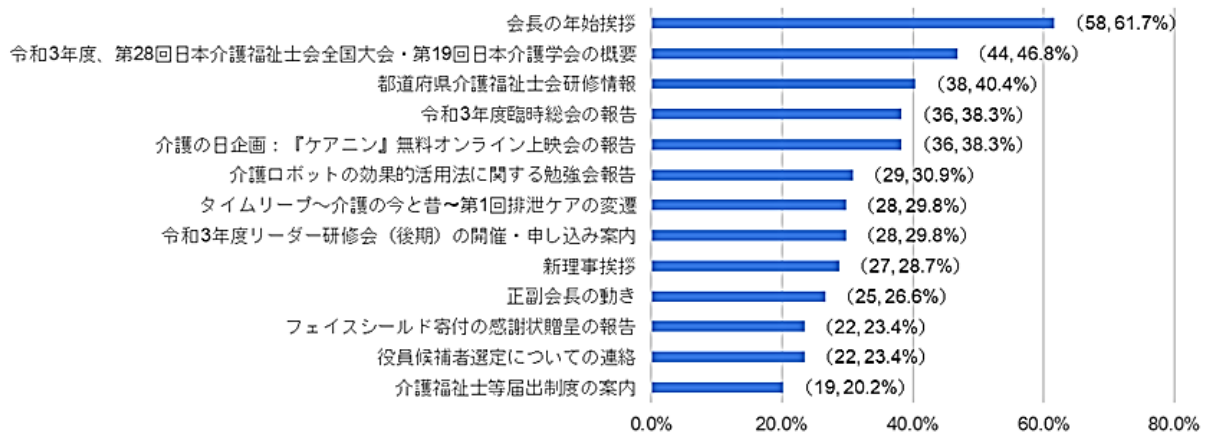
『ニュース』の文章表現や取り上げている内容について、読みづらいと感じる主な理由を、複数回答(上限3項目を選択)で質問した。その結果、「報告事項が多い」30件(31.9%)、「文章表現が固い」26件(27.7%)、「内容が固い」22件(23.4%)が多かった。



## (12) 最近の『ニュース』で読んだ記事

最近の『ニュース』について、どのような記事を読んだか複数回答(上限3項目を選択)で質問した。その結果、「会長の年始挨拶」58件(61.7%)、「令和3年度、第28回日本介護福祉士会全国大会・第19回日本介護学会の概要」44件(46.8%)、「都道府県介護福祉士会研修情報」38件(40.4%)が多かった。

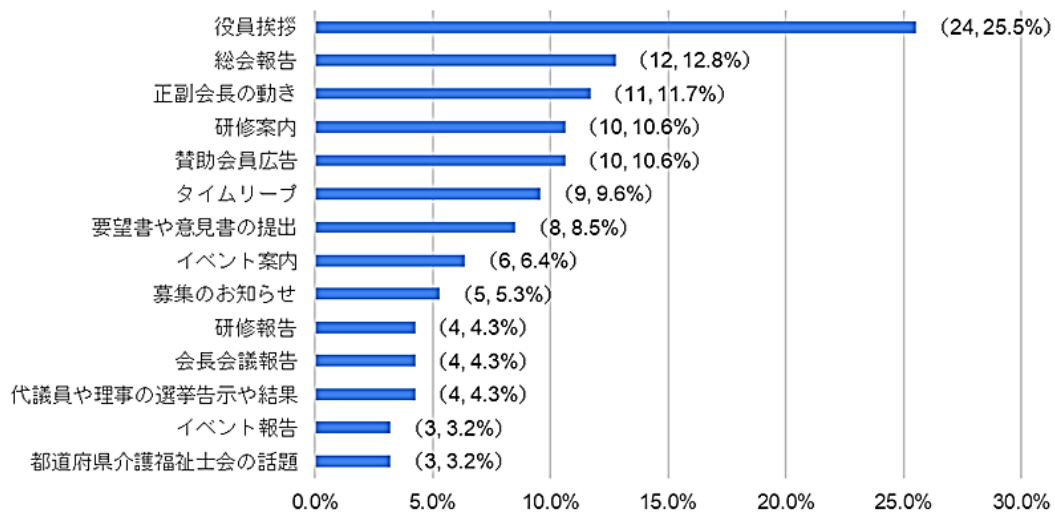
最近のニュースで読んだ記事（複数回答）



## (13) 関心のある記事

最近の『ニュース』について、どのような記事に関心があるか複数回答（上限3項目を選択）で質問した。その結果、「役員挨拶」24件（25.5%）が特に多かった。

関心のある記事



## (14) 取り上げて欲しい内容

『ニュース』で取り上げて欲しい内容について、自由記述で回答を求めたところ、以下の記載がみられた。

## ① 介護技術やサービスに関する情報

- ・ 介護保険関連
- ・ 障がい児・障がい者分野
- ・ 会の動きや国会などで審議されている今後の情勢など
- ・ 適宜、制度改正の速報や詳細説明など取り上げて欲しいです。今でいえば介護職員処遇改善支援補助金の内容がわかりづらいので情報があれば助かるなあと考えています。

- ・ 現在の介護業界にかかる政治、経済の動向
- ・ 地域共生社会における介護福祉士の役割と価値について。社会福祉法人連携推進に関すること。
- ・ 介護に関する専門性の連載など

## ② 都道府県の状況、都道府県介護福祉士の事業等

- ・ 各都道府県会長にフォーカスをあてたコーナーがあると良い
- ・ 特定の地域の話題に片寄らないで、全日本各地域のニュースを取り上げてください。
- ・ 各都道府県介護福祉士会独自の活動を紹介して欲しい
- ・ 職場紹介
- ・ 各都道府県の取り組みや事例紹介がもっと知りたい
- ・ 都道府県介護福祉士の事業、活動状況や福祉介護保険制度に関する国、業界の動き。
- ・ 地区ごとの好事例や新しい取り組み。又は、参加がしやすいような取り組みへの促し。

## ③ 日本介護福祉士会の取り組みなど

- ・ 委員会等の活動の報告 とりくみ
- ・ 会費の仕組み、値上げについて
- ・ 最新情報、職能団体の役割を認識してもらえそうな記事
- ・ 調査報告
- ・ 国との関わりについて
- ・ マスコミに取り上げられた場合の内容
- ・ 「ニュース」は、沢山の会員が読む物です。沢山の人が読むなら、沢山の記事がないと飽きてしまいます。今回のアンケートに話題が会員同士の会話にない、と私は答えました。多くの会員は、読んでないのです。事例や対応、研修や認定介護福祉士、KAIGO PRiDE, ロボット、身近な話題、沢山のニーズに応えるべきニュースであってほしい。某会は、年会費 5,000 円で、学会誌と事例ジャーナルが年間 4 冊づつ、送られます。読むだけでも学びができます。更新のための単位取得はありますが、少なからず、会員同士で、話題になります。このままだと介護福祉士会の「会員離れ」は止められないのでは、と懸念しております。運営サポーターを勧めるも会員限定なので、入られない事がありました。現会員は、退会を考えている方が周囲に多く、そんな会員に運営サポーターを勧めても断われます。職能団体として会員数を増やす事をするべきです。話は逸れましたが、魅力を伝える事、習慣的に読む事につなげる事が、考えられます。

## ④ 介護福祉士・介護職の働き方

- ・ 介護福祉士の多様な働き方。例えば、介護施設だけではなく、一般職に従事しながら知識を生かしている。独立した介護福祉士さんたちのトピックなど。
- ・ 介護職員の連携。例えば仲間が退職しない環境とは。
- ・ 副業可能な求人情報

## ⑤ 研修

- ・ 研修会の情報

- ・ 全国大会やブロック研修会 ブロック研修を再開して欲しい
- ・ 認定介護福祉士養成研修開催情報

## ⑥ 会員の声

- ・ 会員同士が交流出来る機会を作っていただきたい。
- ・ 会員の声

## ⑦ これまで通りでよい

- ・ これまで通りでよい。
- ・ なし
- ・ 今まで通りで良いと考える

## (15) 『ニュース』の書式

『ニュース』の書式については、文字の大きさ、デザイン、文字量・ページ数共に、「現在のままでよい」がそれぞれ6割以上を占めた。

表8 『ニュース』の閲覧状況と介護業務従事状況

	現在のまま	(%)	改善して	(%)	計	(%)
文字の大きさ	74	( 79.6)	19	( 20.4)	93	(100.0)
デザイン	59	( 63.4)	34	( 36.6)	93	(100.0)
文字量・ページ数	65	( 69.9)	28	( 30.1)	93	(100.0)

一方で、文字、デザイン、文字量等について、具体的な改善の内容を自由記述で回答を求めたところ、以下の記載があった。

- ・ 紙面の拡大 はっきりした色合い
- ・ 一色を基調に作られているため、もう少しカラフルなデザインがよいのではないかと思います。
- ・ 目を引く記事、見出しを大きめに
- ・ 字を大きくしてほしい
- ・ 写真を多く使用し、活動が分かるやすく目に入るようにしてほしい
- ・ 字が小さい。文字を大きく
- ・ もう少しおしゃれに。
- ・ もう少し大きい文字にしてもらいたい。教科書用のフォントなどは読みやすいと思う。
- ・ イラストなど、入れて下さると介護の楽しさが伝わるように思う
- ・ 文字の大きさは今のままで良いと思います。デザインは赤ではなくて、見やすいグリーンやブルー、ブラックを基調にしてほしい。
- ・ ぎっしり詰めるのではなく、簡潔に読みやすい説明。必要な部分を簡潔に読みたい。
- ・ 現状のデザインはよく言えばシックで落ち着きがあるのですが、今の若者から見れば古臭さを感じるデザインに感じます。「介護はカッコいいものだ」ということを広報誌からも感じられるようなデザインとなれば、介護職のイメージ向上にもつながるような気がします。
- ・ 致し方ない部分もあるとは思っているのですが、文字量が多すぎると何の情報も前面に出したいのか読み取りづらくなるように思います。(PowerPoint のスライドが文字だらけだとう

んざりするのと同じイメージです。)改善案としては文字の代わりに画像や図形で置き換えができる部分は置き換えていければ視覚的にもわかりやすくなるのではないかと考えています。

- ・ 背景やタイトルの色、文字の大きさなど、企画や内容に応じて変化をつける。
- ・ わかりやすく3つの項目にするなどあまりたくさんはிரないかと思ひます。
- ・ 昔ながらの機関紙から脱して、皆が元気になるような明るいデザイン
- ・ 文字は多くても、必要な情報、関心の高い記事であれば読む。また、レイアウトが読みやすいものであれば、文字量は関係ないと思う。
- ・ 読みやすく内容を簡潔に
- ・ 文字量が少し多いかと感じる。
- ・ ページ数は増えてもいいかと思われる。
- ・ 見出はもっとフランクでも良い。

#### (16) 『ニュース』の発行方法

『ニュース』の発行方法については、「印刷物(郵送)とweb配信の両方がよい」51件(54.3%)が最も多く、次いで「web配信のみでよい」26件(27.7%)だった。

表9 発行方法

	件数	(%)
印刷物(郵送)のみでよい	14	(14.9)
<b>web配信のみでよい</b>	<b>26</b>	<b>(27.7)</b>
<b>印刷物(郵送)とweb配信の両方がよい</b>	<b>51</b>	<b>(54.3)</b>
計	94	(100.0)

その他として、以下の記述がみられた。

- ・ 会費を払っているのなら、Web版でも全文が閲覧できる設定でよいかと
- ・ 希望者のみ印刷物(郵送)
- ・ 紙媒体でなくても良い。メール配信

#### (17) 『ニュース』の工夫や改善

会員に読んでいただける『ニュース』にするために、どのような工夫や改善が必要か、自由記述で回答を求めたところ、以下の記載があった。

##### ① 内容について

- ・ 何を発信したいのかがわかるように改善が必要かと感じます。何をメインに伝えたいのかが不明かと思ひます。
- ・ 他府県介護福祉士会の活動状況が知りたい
- ・ 記事内容は全国まんべんなく、記載してください。
- ・ 会員の事業所での取り組みやちょっとした工夫
- ・ ICTや介護ロボットとの共存とケアの質について
- ・ 「入会するメリットは…？」と聞かれることが多い。分かりやすく、伝わりやすい答えを載せてもらえると嬉しいです。



- ・ 会員の声を載せること
- ・ 新制度等を具体的に教えて頂きたい
- ・ 介護は、楽しい。尊い人材と感じれる内容だと、今してる事は、いいんだ。と認めてもらえるような内容があると嬉しいです。
- ・ 他府県の介護福祉士の活動状況が知りたい。介護技術などのコラムは全国紙には不要。介護福祉士に関する国の政策情報が知りたい。
- ・ 個人的には高齢分野に偏り過ぎると以前から感じている。従事している割合からすればそうなのかもしれないが、これからの時代は障がい分野が広がってくる。
- ・ 技能実習制度と准介護福祉士制度、外国人労働者との関係性や方向性に関する記事
- ・ 介護福祉士の配置基準や認定介護福祉士や専門介護福祉士の位置付けに関する記事
- ・ 「介護士」の呼称の撤廃や使用禁止の訴え強化
- ・ 介護福祉士という職業を選択してもらう為の道筋
- ・ 欧米・北欧等の海外の介護事情の特集
- ・ 47都道府県支部のマスコット&キャラ選手権
- ・ 公共交通機関の介護割り特集及び割引や特権情報の掲載又は予約方法のポイント特集、車椅子でも入れる温泉特集、ガイドヘルパー同行可能な温泉特集、障がい児・障がい者が移動・旅行する時のポイントとなる特集、点字や手話のワンポイントレッスンなどなど、定番の記事から特番的な記事も組み合わせないといけないかなと。
- ・ タイムリーな話題。
- ・ 各都道府県介護福祉士会との連携情報やスタッフ紹介等は、会員や関係各位が身近な存在であることを発信できる一つであると考えます。
- ・ 文字が多すぎるとのネガティブな話題は必要ありません。国会議員の話などは必要ないし、現場で使える明るい話題を中心に、一般の若い介護福祉士会員に馴染んでもらえるよう工夫してもらいたい。
- ・ 職能団体のミッションを果たすためのツールとして、内容を再考してほしい。全国の介護福祉士がつながりを感じられるようなものも。あとはやっぱりデザイン、レイアウトが重要だと思う
- ・ 受験手数料の返還や交付金などの情報を1面に等
- ・ 表紙に、各記事のタイトル一覧を入れては如何でしょうか。また、特に職能団体として調査、提言したことは、機能を発揮している証ですので強調しても良いのではないかと思います。
- ・ 偏らず多くの会員にインタビューをとる
- ・ モチベーションの上がる記事
- ・ 現場で活躍する介護福祉士会会員の方へのインタビュー記事があってもよいのではないかと
- ・ レアな情報がいち早く観れる(ホームページ)私自身は定期的に関覧をして活用しています。

## ② 構成について

- ・ マジメな個所と遊びの個所と極端に分けてもいいかと
- ・ 量を増やす、4コマ漫画的な記事を取り入れる、写真など、沢山のニーズに応え、読みたくなる「新聞」が良いと思います。

- ・ 発行する時期に話題となるニュースで、目を引くようなものが大きくあると良いと思う。
- ・ 興味のあることが、それぞれ別ですので、色々な情報があって良いと思います。娯楽に走る必要もないし、固い紙面かもしれませんが、それで良いと思います。
- ・ 個々の会員さんの意識の有無だと思う。社会保障審議会内容や地域間で開催される啓発事業、自己研鑽の為の研修内容。会の活動報告等
- ・ 報告事項だけでなく、介護福祉士会が考える介護の専門性の積極的な発信。また、現場の事例を通して、具体的にこのような対応を行うことで改善できたなど、現場に寄り添った内容を盛り込んだ方がよいと思う。
- ・ 以前に比べ、内容が薄くなったような印象があります。他職能団体のものを参考に記事内容を検討されてみてはいかがでしょうか
- ・ 会員からの投稿コーナーなど情報交換できる紙面もあれば楽しいのかなと。

### ③ 書式

- ・ 写真等を多くする
- ・ 複数の内容を配信するより、メール配信など月に数回、新しい動向をどこよりも早く伝える仕組みや、介護福祉職の思いや願い、ネガティブな要因も話題に上げて解決できるよう取り組みを願っています。
- ・ デジタル化の推進。デザインを変える。
- ・ 文字を大きくされたり、新聞形式にされたりともう少し読みやすくして頂けたら嬉しいです。
- ・ カラー版がいい

### ④ その他

- ・ 職場等分かる場合は、会員のスタッフがいる職場の事務長宛とかにも送ってもらくと、上が介護の現状確認でスタッフに今こうなってるんだね等スタッフに聞いたりできる状況ができる。会員が見ても医療法人等では、介護業界の動きが伝わらない現状が多い。介護の事を他職種に伝える意味でも事務長辺りに送るというのもいいんじゃないかと思う。
- ・ もう少し政治家とうまく付き合ってほしい。介護に関して動いてくれる政治家を後押ししてほしい。全国介護事業者連盟の動きを見習ってほしい。
- ・ ニュースが問題では無い様に思います。職能団体としてなにを発信したいかだと思います。
- ・ 発行時のメール配信
- ・ 看護師などの他職種の職能団体に比べて介護福祉士会は会員数が少ないので会員数を増やすためにも日本介護福祉士会ニュースなどの会報誌を介護福祉士が働いている職場、介護福祉士養成校に定期的に配り、介護福祉士会の存在、活動を知ってもらうことが必要だと思います。
- ・ まず、編集担当者は他の職能団体の機関紙を見てください。とても見やすく、現場に即した記事内容です。今はコロナ渦で大変な労働環境にいる介護福祉士や介護スタッフに寄り添う活動や記事をお願いしたい。またクイズコーナーやプレゼントコーナー、イラストコーナーなど、おたのしみ記事も検討されたい。
- ・ アニメ業界やマスメディア業界、多団体との連携や提携し記事や広告に載せる
- ・ 研修告知以外で47都道府県の支部が自由に使えるスペースをブロック単位で順次掲載

- ・ ニュースを読んでアンケートに答えると日介協賛企業の商品がプレゼントされる
- ・ 入会の目的や意識が違うので、どのような内容、どのような媒体にしたとしても、一定数の人は見て、一定数の人は見ないと思います。ターゲットを誰にするのかによって、決めると良いかと思います。
- ・ 紙媒体のニュースだとどうしても封を切って開けるのが後回しになりがちです。メールで配信していただければ仕事の隙間時間に読めると考えています。
- ・ 『ニュース』が郵送で送られてきても、整理しておかないと読み返せない。ホームページに『ニュース』の欄がありいつでも読み返せたら良い。『ニュース』の郵送が必要な方もいるかもしれないが、ホームページを見る習慣をつけて、ホームページを見るようにしたいと思う。
- ・ もっと PR が必要と考える
- ・ 各都道府県の広報誌も日介で共有できると良い
- ・ 存在自体知らなかった